

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月21日		記入者	内線	2716
部名	経済部	課名	商業観光課	課長名	加藤一嘉
事務事業名	市民まつり開催事業				
予算上の事務事業名	市民まつり開催経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		35210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第5章 輝き魅力あるまちづくりを進めます				
基本施策名	第2節 観光の振興と余暇対策の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 魅力ある観光資源の整備と情報発信				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	なし				
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模原市観光振興計画		都市の魅力づくりにつながる新しい地域文化を創出するなど、都市型観光の創造を目指し、62万人都市「相模原」のPRを進める。		
計画年次	14	年度～	18	年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		▼		
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
相模原市民のふるさとづくりをテーマに始まったまつりで、市民による手づくりのまつりとして発展定着してきた。今後も市民の手による見直し等を通して「市民主導」のまつりとして発展させていきたい。				市民(市民団体)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
市民まつり実行委員会への負担金交付及びまつり事務局事務 <開催概要> 名称 相模原市制50周年記念 第31回相模原市民桜まつり 開催日 平成16年4月3日(土)・4日(日) 会場 市道市役所前通(市役所さくら通り ほか) 観客数 315,000人 事業費 16,635千円 市負担金の支出 864千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
町田市：町田市民さくら祭り 呼称「まちださくらまつり」 主催：町田市民さくら祭り実行委員会 毎年、「尾根緑道」を会場に4月第1週の土日に開催 イベントの内容： 模擬店、展示コーナー友好都市の特産物の販売コーナーなど。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	14,726	14,900	16,635	13,828	14,800
一般財源	14,726	14,900	16,635	13,828	14,800
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	16,780	16,020	16,140	16,140	16,140
事業コスト合計(a)	31,506	30,920	32,775	29,968	30,940
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民まつり開催事業			対象名称(単位)	市民まつりの来場者数(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	31,506	30,920	32,775	29,968	30,940
対象数	380,000	345,000	315,000	395,000	400,000
単位あたり経費(円)	83	90	104	76	77
前年度比		1.08	1.16	0.73	1.02

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	市民まつりの来場者数（万人）		指標式と指標の説明	市民まつり来場者数 開催意義	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	38.0	34.5	31.5		
目標	49.6	49.6	49.6	49.6	49.6
目標達成度	0.77	0.70	0.64		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	まつり運営参加者数（人）		指標式と指標の説明	まつり運営参加者数 まつりへの参加意識の向上	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	220.0	250.0		
目標	0.0	247.0	271.0	0.0	0.0
目標達成度		89.1	92.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 企画検討会議の新設、まつり管理業務従事者の配置などにより、自主的な企画、運営体制が確立されつつある。			14 課題として認識されたこと まつりの肥大化とともに、事業費が増加し、新たな財源の確保が急務となっている。 また、ゴミの分別、地域経済の活性化策への取組みが必要となっている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			